

3歳児教育課程(Ⅰ期～Ⅱ期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月	4	5	5	6
期	Ⅰ期		Ⅱ期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての集団生活で、戸惑い、泣いたり、保護者の後を追ったり、離れられないなど、不安な気持ちを様々な形で表現する姿が見られる。 ・園生活に少しずつ慣れ、自分から遊び始めるが、急に人の物を取ってみたり、取られたりして、泣いたり叩いたり怒ったりする姿がある。 ・一日の流れ(登園、遊ぶ、片付け、集まる、おやつ、降園など)が分かってくる。 ・行動には時間がかかり、個人差が大きい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に少しずつ慣れて緊張がとれてきているが、今まで元気に登園していると思っていた子が急に泣いたり、登園を嫌がったりする姿が見られる。 ・保育者の傍で安心を覚え遊び始める子どもや友達に興味をもち始める子どもがいる。 ・虫(だんご虫、あり、ちょう)、川の生き物(ヤゴ、おたまじゃくし、アメンボ)を捕まえて喜び、会話時にその話題を取り上げると興味を持って聞こうとする。 ・遊びに夢中になっているため、片付け、持ち物の始末に時間がかかる子どもがいる。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の生活を知り、保育者に守られて過ごす。【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 ・神さまと出会い、お祈りする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れ、安心して過ごす。【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 ・生活に必要な習慣を知る【環境・健康】 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○先生やクラスを知る ○登園する <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする ○身の回りの始末をする ○用便や手洗いをする ○先生と一緒に遊ぶ ○集まりをする <ul style="list-style-type: none"> ・お祈りする ・お話を聞く ・手遊び、歌、リズムなどをする ○おやつを食べる ○ゲーンズDAYを知る <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーンズ先生のお話を聞く ○こいのぼり制作をする 		<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に慣れる ○好きな遊びをする 〈室内〉 ままごと、積み木、汽車、ブロック、絵を描く、パズル、ヒモ通し、コリントゲーム、箱製作、はさみ、のり、セロハンテープ、絵の具、プレイデー 〈室外〉 泥遊び、砂遊び、水遊び、動物(うさぎ、孔雀、鶏)に餌やり、遊具(三輪車、スケーター、滑り台、ブランコなど)、サッカー、野球、しゃぼん玉 ○着替えをする ○戸外では帽子をかぶる ○検診を受ける (眼科、歯科、耳鼻科、内科) ○お弁当を食べる ○野菜の種、さつまいもの苗を植え、育てる (、スナックえんどう、たまねぎ、にんじん、おくら) ○身体測定をする 	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の用意が順調にできるように、靴や持ち物の始末には声かけを繰り返す必要がある。 ・基本的な生活習慣(身の回りのことや排泄など)のことなどペープサートを用いて話をする。 ・各学年の活動や各クラスの動きを毎日フリーの先生方とよく話をして、子ども達が危険などがないよう配慮をする。(保育室、園庭) ・目についた物で遊び始められるように、机の上におもちゃを置いて遊びかけの状態にしておいたり、園庭の机や砂場にもままごと道具や砂遊びができる状態にしておく。 ・排泄には個人差があるので十分に把握しておき、声かけをこまめにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊び、気持ちの面でも援助できるように語りかけたりアイコンタクトをする。 ・どの子どもにも分かりやすく、活動しやすく、利用しやすく、片付けやすく、子どもたちの動線も配慮して保育室、園庭環境を整えていく。 ・朝はおもちゃなど子どもが遊び出しやすいよう遊びかけのままを出しておいたり、園庭の机にお皿やスコップ、じょうろなどを置いておく。 ・行動範囲も広がって園内のさまざまな場所に行ってみようとするので保育室と園庭とで遊ぶ子ども達をしっかりと受け止めたり、危険な行動のないように気を配る。特に気になる子どもなどは補助の先生とよく話をして、できるだけ傍にいたりどこにいるのか常に把握しておく。 ・気候のよい月なのでできるだけ屋外に出て植物や動物、自然に触れて過せるよう園庭全体にも心を配り環境構成をしておく。 	